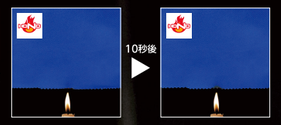
難燃素材

- □ 接炎しても燃え上がることなく炭化します。
- □ やわらかく肌触りの良い素材です。
- □ 洗濯しても難燃性能は低下しません。
- □ 制電性を備え肌にまとわりつかない着心地です。
- □ 素材だけでなく、機能的にも防炎性を高めています。

一般的な綿素材との燃焼実験

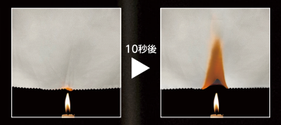
難燃加工綿 100%素材

着火しても炭化して燃え広がらず肌に張り付かない。



一般的綿 100%の生地

着火後燃え広がる速度が早く火傷の危険性が高い。



素材が燃焼を継続するのに必要な酸素濃度

限界酸素指数（LOI 値）

繊維の燃えにくさを測る尺度として用いられる数値で、「JIS L 1091 E法 限界酸素指数（LOI値）」で規定されています。LOI値は、窒素と酸素の混合気体において物質の燃焼に必要な最少酸素量の容積百分率で表されます。（LOI値が大きいほど燃えにくい）

素材別燃焼指数（LOI値）

各種性能基準をクリアしています

耐炎
耐炎性試験:ISO15025 A法

耐熱
耐熱性試験:（JIS T 8023:2006）

帯電防止
摩擦帯電電荷量測定法:（JIS L 1094）

引張・引裂強さ
ラベルドストリップ法:（JIS L 1096 A法）
シングルタング法:（JIS L 1096 A-1法）

※第三者機関で試験実施